

艶と温かみを兼ね備えた美声で錚々たる指揮者たちを魅了し続いているソプラノ、ランツハマー。度重なる要請に応え、2006年以来ようやく再来日します。得意のショーマンを中心とする知的で多彩なプログラムは、彼女の魅力をさまざまな角度から堪能いただく最高の組み合わせ。ピアノは名手フーバー。今年最大の歌曲リサイタルといつて過言ではありません。

デビューして瞬く間にスター・ダムを駆け上がったため、日本のファンの前に姿を現すのに時間がかかってしまった海外アーティストというのは少なくない。特に制作に時間がかかるオペラに拘束されることが多い歌手は、器楽奏者に比べ、その割合が高くなるように思う。ナタリー・デセイ(ドウゼ)などその典型と言えるだろう。

逆に知名度が高まる前に来日を果たしたがゆえに、一部の聴衆の記憶にのみ残り、後に魅力を知つた多くのファンから次の来日を渴望されるも、すでに多忙をきわめままならない場合も多々ある。来たる11月26日、日本で初のリサイタルを開くクリスティーナ・ランツハマーはこの両方が当てはまるひとりだ。

2004年にバッハ・コンクールのファイナリストとなり注目された彼女は、翌2005年にベルリン州立歌劇場でのツェンダーの歌劇《ジョセフ・エフ・ザウ》世界初演に参加。2006年にはミュンヘン・バイエルン放送の声楽コンクール“La Voce”で1位なしの第2位を受賞し、同年夏のルツェルン音楽祭ではシュトゥットガルト新ヴァーカル・トリオ・アンサンブル金沢《マタイ受難曲》で日本にデビュー、翌2006年にはバッハ・コレギウム・ジャパンにも客演している。

# クリスティーナ・ランツハマー ソプラノ・リサイタル

11/26 火

19:00開演

友の会優先発売 6/26 一般発売 6/29

その後、ランツハマーは、2007年バイエルン放送響にデビュー。そして、2011年ザルツブルク・モーツアルト週間でのアーノンクールとの共演を皮切りに、ティーレマン指揮ヴィーン・フィル《影のない女》、ノット&バンベルク響のマーラーや《コジ・ファン・トゥッテ》、ラトル指揮ベルリン・フィル《カルメン》、ヘレヴェーへのショーマン《楽園とベリ》およびハーディングとの同《ファウストの情景》、その他にもギルバート指揮ゲヴァントハウス管およびニューヨーク・フィル、ユロフスキ指揮ベルリン放送響、イヴアン・フィッシュヤー＆ブダペスト祝祭管など続々と話題の公演で成功を重ねてきた。

日本にはその後、2013年にパーヴォ・ヤルヴィとドイツ・カンマーフィルハーモニー・ブレー

ンドと英米語作品で構成。後者の歌曲集はホイントマンと並ぶ米国最大の詩人エミリ・ディキンソンのテクストに基づく。本年2月の「紀尾井明日への扉」で三宅理恵がこの詩人を探り上げていたのをご記憶の方も多いだろう。

後半はドイツのバロックとロマン派から。まずはヘンデルの才能を見出したといわれるヨハン・フィリップ・クリーガーの小品を4つ。あまり耳なじみのない作曲家かもしれない

ないが、しつとりと胸に染み入る《孤独に寄せて》など、ぜひお聴きいただきたい名曲ばかりを揃えている。最後のショーマンに至つては、彼女が最も好んでいる作曲家、といえば十分だろう。

どれも声と言葉の美しさが際立つ名曲であり、ランツハマーの温かく柔らかな声のキャラクターを存分に味わつていただけること請け合いである。ピアノにはゲルハーヘルの信頼を一手に集めるゲロルト・フーバーが、この一晩のためだけに来日する。



©Marco Borggreve

その後、ランツハマーは、2007年バイエルン放送響にデビュー。そして、2011年ザルツブルク・モーツアルト週間でのアーノンクールとの共演を皮切りに、ティーレマン指揮ヴィーン・フィル《影のない女》、ノット&バンベルク響のマーラーや《コジ・ファン・トゥッテ》、ラトル指揮ベルリン・フィル《カルメン》、ヘレヴェーへのショーマン《楽園とベリ》およびハーディングとの同《ファウストの情景》、その他にもギルバート指揮ゲヴァントハウス管およびニューヨーク・フィル、ユロフスキ指揮ベルリン放送響、イヴアン・フィッシュヤー＆ブダペスト祝祭管など続々と話題の公演で成功を重ねてきた。

日本にはその後、2013年にパーヴォ・ヤルヴィとドイツ・カンマーフィルハーモニー・ブレー

ンドと英米語作品で構成。後者の歌曲集はホイントマンと並ぶ米国最大の詩人エミリ・ディキンソンのテクストに基づく。本年2月の「紀尾井明日への扉」で三宅理恵がこの詩人を探り上げていたのをご記憶の方も多いだろう。

後半はドイツのバロックとロマン派から。まずはヘンデルの才能を見出したといわれるヨハン・フィリップ・クリーガーの小品を4つ。あまり耳なじみのない作曲家かもしれない

メンとの《フィデリオ》で再来日するはずだったがキャンセル、次いで2017年にプロムシユテット指揮N響公演もキャンセルとなってしまい、ファンをやきもきさせたが、遂にこの度、13年ぶりに再来日が実現する運びとなった。今回のプログラムは、ホイントマンと並ぶ米国最大の詩人エミリ・ディキンソンのテクストに基づく。本年2月の「紀尾井明日への扉」で三宅理恵がこの詩人を探り上げていたのをご記憶の方も多いだろう。

後半はドイツのバロックとロマン派から。まずはヘンデルの才能を見出したといわれるヨハン・フィリップ・クリーガーの小品を4つ。あまり耳なじみのない作曲家かもしれない

メンとの《フィデリオ》で再来日するはずだったがキャンセル、次いで2017年にプロムシユテット指揮N響公演もキャンセルとなってしまい、ファンをやきもきさせたが、遂にこの度、13年ぶりに再来日が実現する運びとなった。今回のプログラムは、ホイントマンと並ぶ米国最大の詩人エミリ・ディキンソンのテクストに基づく。本年2月の「紀尾井明日への扉」で三宅理恵がこの詩人を探り上げていたのをご記憶の方も多いだろう。

後半はドイツのバロックとロマン派から。まずはヘンデルの才能を見出したといわれるヨハン・フィリップ・クリーガーの小品を4つ。あまり耳なじみのない作曲家かもしれない